

中村小学校学校だより



～ひかり～

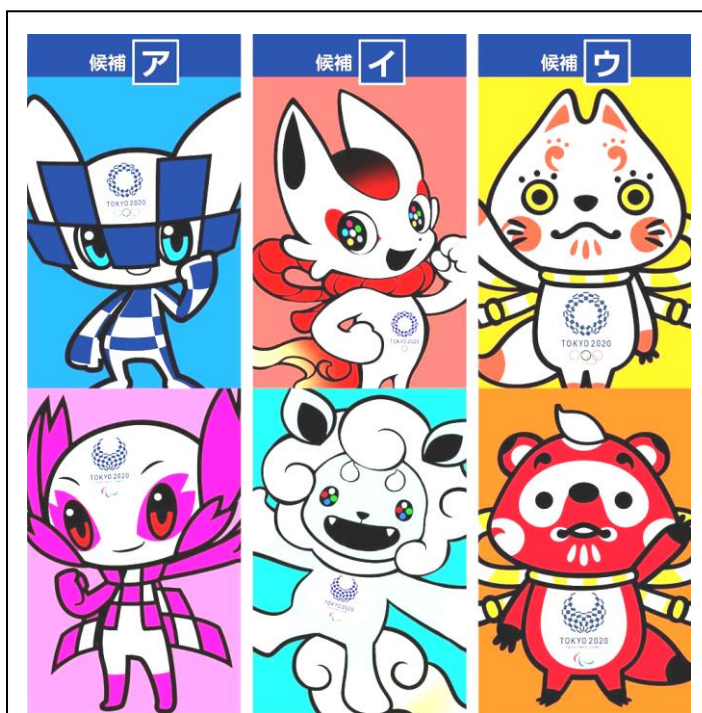


2月生活目標：寒さに負けず頑張ろう

平成30年2月16日 文責：校長 宮崎

## 東京オリンピック・パラリンピック

### 中村小学校のマスコット投票結果発表



前号でお知らせしたように、2020年東京オリンピック・パラリンピックで使用されるマスコットの全国投票に中村小学校も参加しています。学級ごとに決定して投票することになっていますが、その結果は次のようになりました。

**ア：7    イ：2    ウ：3**

それぞれ選択した理由があります。

**ア**：ヒーローみたいで格好良くて、悪をやっつけてくれそう。・桜や市松模様は日本をアピールしている。・スポーツができそうなイメージのキャラクターでオリンピックにはピッタリだと思う。・桜は日本のイメージにピッタリで、外国から来た人に日本の文化や良さをアピールするにはちょうど良い。等

**イ**：しっぽまで燃える赤なので、オリンピックを元気に頑張れそうなイメージがある。・2対のマスコットがライバルということで、競技が終わって国は違っても選手同士が試合後に抱き合っている姿がイメージできた。・福をよぶ招き猫や守り神をモデルにしているのが良い。等

**ウ**：勾玉が日本にゆかりのある物だから。・タヌキとキツネは日本独自のイメージがあって、外国の方にも知って欲しい。世界中の人が日本にくるから、キャラクターからも日本らしいところを知って欲しい。等

マスコット選びの学習を通して

子ども達は、自分達が選んだマスコットがオリンピックで採用されるかもしれないという期待感で意欲的に取り組んでいました。またオリンピックの目的・意義から考えて、それにふさわしいマスコットは？とみんな真剣に考え意見交換していました。

全国から参加した小学校の投票結果が発表されるのは、2月末日となっています。もう間もなくです。どんな結果になることでしょう。みんな楽しみに待っています。

## 校内なわとび大会 2月8日

雪で延期した校内なわとび大会を2月8日に実施しました。年明けからインフルエンザが猛威をふるい、体調不良の児童も多く、また大寒波が押し寄せてきて、なかなか思うように練習ができませんでした。当日も風は冷たかったのですが、子ども達は、なわとびを始めると身体が温まってきたのか、元気いっぱい、数を数えながら上手に跳んでいました。ひっかかってもあきらめずに、再度挑戦していました。

○持久とび(2分間) 91人が達成しました。

○大縄跳び(ファミリー班)

1位: 257回(18班)

2位: 220回(8班)

3位: 187回(3班)

200回以上跳んだ班がありました!!

なわとび大会は終わりましたが、今も昼休みなどに上級生が下級生に教えながら楽しんで、なわとびをしています。身体も鍛えられますし、上級生と下級生の微笑ましい光景です。



## 「小京都中村ジュニアタウンプロジェクト」 6年生 総合的な学習の時間で

「総合的な学習の時間」に、6年生が「小京都中村ジュニアプロジェクト」と銘打って、自分達が暮らしている町の未来を考える取り組みを進めています。具体的には四国銀行跡地を敷地として、どんな空間、場所にしたらよいのかを考え企画するというものです。「四万十市まちづくり課」の方にお世話頂きました。このプロジェクトに関わって下さっている九州在住の3人の方々から出された指令書を基に、4~5人のグループに分かれて、「交流」「観光」「商業」「防災」といったキーワードから、中村の町の未来を設計していきます。敷地周辺的一条神社、商店街の方々にも色々ご協力頂きながら学習を進めています。どんな企画、設計図が出来上がるか楽しみにしています。



現地で敷地の広さや空間の広がり、近隣の環境などを調べたり感じたりしています。



各自考えてきた案を出し合っています。